

離床センサー vol.113 2018.12

現場レポート!



離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します!

鳥取県・施設 A 様

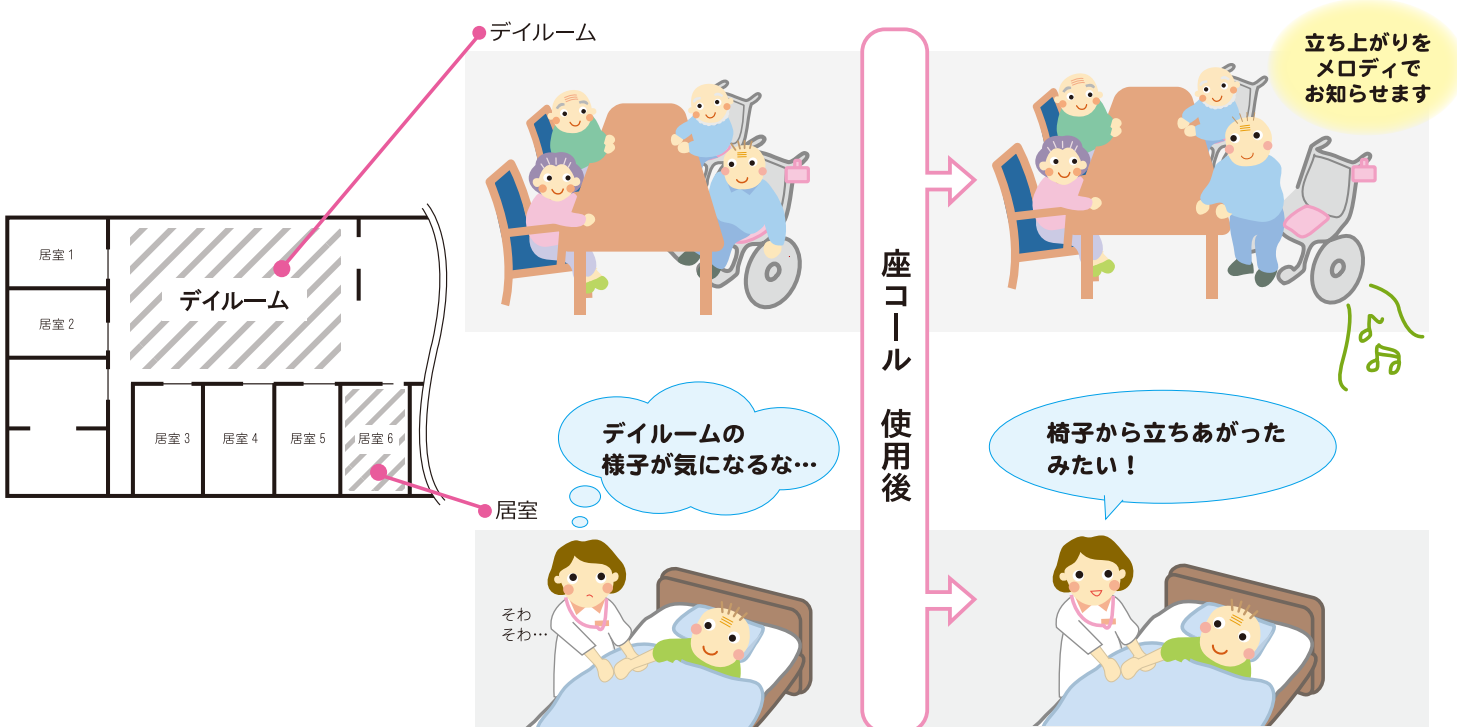
● 製品：座コール・メロディタイプ



鳥取県のグループホームをレポート
「座コール・メロディタイプ」の運用事例とその効果をご紹介します。

課題 日中、グループホームの入居者はデイルームでくつろいでいらっしゃいます。スタッフが一人対応となり作業のため居室に入ると、デイルームの様子が見えないので、転倒の危険度が高い対象者が、ひとりで立ち上がった様子に気がかりです。

対策 椅子や車いすからの立ち上がりをお知らせする「座コール・メロディタイプ」をデイルームの転倒の危険度が高い対象者に設置しました。



効果 椅子・車いすからの立ち上がりをメロディでお知らせ！
使用前は、デイルームの様子を気かけながら作業をしていました。センサーを使用してから、見えない所でも対象者の行動が把握できるので落ち着いて作業ができました。